

科学の祭典2022 in 神奈川 参加 報告書 (HP記載)

催 日	2022年8月7日(日)
開 催 時 間	10:00~15:30
名 称	青少年のための科学の祭典 2022 神奈川大会
主 催 者 等	神奈川県立青少年センター
開 催 場 所	神奈川県立青少年センター 2階 スタジオ HIKARI
行 事 内 容	日本技術士会神奈川県支部社会委員会科学技術振興支援小委員会より 対外活動の一つとして理科の体験及び工作活動の普及のため1ブースを出展した。 1ブースにて5テーブル各2種類の工作を実施した。
参 加 人 数	子ども73名(申込100名抽選)。当ブースには47名来場
概 要	<p>1. ブースの出展内容並びに主&副担当者:</p> <p>1)くるくる坂道 ◎千葉、吉田、大山、成川、那須、依田、前田</p> <p>2)木のぼりテントウ虫 ◎新井、吉田、大山、成川、那須、依田、前田 *全体調整 千葉</p> <p>2. 概要</p> <p>小学校1年生から6年生までの抽選で当選した100名の子供たち(午前50名、午後50名)のうち、午前34名、午後39名の計73名の小学生が来場した。(主催者発表)、私たちのブースには47名の理科に関心ある小学生並びに保護者が見え、ヒアリングにて確認した学年では小学2~3年生が多かった。コロナ感染の拡大により、約7割の入場であった。</p> <p>3. 会場の状況</p> <p>1テーブル2種類の工作を実施して、予定時間15分で作品の動作確認も含めての時間配分であったが、工作を簡略化して作業時間を短く計画したため、来場者の待ち時間もほぼ無く、順調に進めることができた。子どもへの感想ヒアリングでは、楽しかったが100%でした。</p> <p>4 まとめ</p> <p>科学体験や工作を通じて科学活動の啓発や普及が図られたと思う。技術士8名が100%対応となる時間があった。2種類の工作で子供たちの満足度が上がったと思われる。</p> <p>5. 考察(受講者の満足度など)</p> <p>毎回感じる事だが、子供たちの工作興味と共に親の工作原理の関心が高く、摩擦力の応用や重力と回転の関係など、科学的な解説に満足する親が多かった。今回は、全体の来場者数も少なかったため、工作には余裕があり、スタッフに質問しながら全員楽しそうに工作を触っていた。次年度も出展を予定している。</p>
	  